

港区立港南小学校
令和元年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」は話題や内容の中心を捉えて聞くことに課題がある。 ・「読むこと」については思考力・判断力を問われる「活用」の項目に課題がある。 ・「書くこと」は無回答の児童が一定の割合でいること、指定された題意や字数と異なる形で書いている児童が多い。 ・前年度に学習した配当漢字は概ね読めているが書くことに課題がある。定着している児童としていない児童の二極化が見られる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生の地図記号や方位磁針の読み取りに大きな課題が見られる。地図記号の知識としての定着や、方位磁針の向きの変化に対応することができていない児童がいる。 ・5年生は地図の見方や消防署の工夫や水の利用など、考察して記述することに課題がある。 ・6年生は複数の資料から情報を読み取ったり、複数の資料を関連付けて把握したりすることに課題がある。 ・全学年共通していることは、活用や応用的な問いに対する回答が低く、思考・判断・表現力に課題が見られる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・「数と計算」では、小数や分数、また倍数の見方に課題がある。 ・「量と測定」については、正しい公式をあてはめたり、量感覚を働かせ、適切な単位を用いたりすることに課題がある。 ・「図形」では、図形の弁別に課題がある。 ・思考力・判断力を問う問題では、問題文の内容理解が十分でないことが原因となり、誤答となる傾向が見られる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・「A物質・エネルギー」では、概ね平均と同様か、平均より高いが、学年が上がるにつれて正答率が低くなる傾向がみられる。 ・「B生命・地球」では、平均正答率と概ね等しい状況である。 ・3学年ともに、観点別でみると、観察・実験の技能に課題がある。 ・4年生は、基礎の正答率が高いが、5、6年生は、基礎よりも活用の正答率が高い。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ol style="list-style-type: none"> (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを的確に表現できるように、思考ツールを用いることや対話型のスピーチ等を行う。書く活動や伝え合う活動を充実させる。 ・授業の中で語彙を増やす、辞典を活用する、漢字を定着させる等、基礎・基本を大切にしていく。全学年で俳句や短歌に取り組み、言語感覚を養うとともに、言葉を尊重する態度を養う。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<p>(1)地域や我が国の国土の地理的環境，現代社会の仕組みや働き，地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに，様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考えたり，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力，考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。</p> <p>(3)社会的事象について，よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに，多角的な思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚，我が国の国土と歴史に対する愛情，我が国の将来を担う国民としての自覚，世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲向上を目指し、資料の提示や疑似体験などを有効に活用する。 ・人の思いや工夫について理解したり、発展的な問題も解けたりしているので、ノートに自分の考えを書く作業や新聞などにまとめる活動を今後も引き続いて行う。 ・地図に関する知識・技能が低いので、ワークテストに取り組みせたり、比較させたりしながら地図に関する問題に慣れさせていく。 ・資料を分析したり、他者と自分の考えの相違に気付かせたりするなど応用力を高める指導を行う。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<p>数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに，日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統一的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。</p> <p>(3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き，学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度，算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質や用語などを理解させるときには、低学年では具体物、高学年では図や写真等を用意し、用語が図形のどの部分にあたるのか、視覚的に理解させる。 ・教室にあるものの量を測定したり、身の回りの数値（ロッカーの数やものの値段等）を使った問題を解いたり、作問活動に取り組んだりする経験を通して、生活につなげて考えさせる。 ・分数や小数の見方を苦手としているので、数直線を教室に掲示し、数の相対的な大きさを可視化して理解させる。また、身の回りにある分数や小数を調べ、紹介し合う活動を取り入れることで、日常の事象を数値化して捉える経験をもたせる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<p>(1)自然の事物・現象についての理解を図り，観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)観察，実験などを行い，問題解決の力を養う。</p> <p>(3)自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察，実験などの技能を高めるために、中学年では実験に使う用具の使い方を丁寧に指導し、高学年では実験器具等に触れる機会を増やし、実験方法を児童が立案するような授業を行う。 ・単元の最初に二事象提示を行い、児童自らが問題を作り課題意識をもてるようにする。その後、課題解決の流れにのっとって授業を展開し、各学年に定められた重点が十分に達成できるような焦点化した授業を行う。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<p>(1)活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。</p> <p>(3)身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然（生き物や植物）に積極的に関わる機会を増やし、児童自らも育てたり飼育したりする経験をもつ。 ・個人の活動を十分に満たした上で、友達との関わりを取り入れていき、「もっと〇〇したい」という意欲を高める。 ・児童が工夫を重ねられるような学習内容を選択し、話し合いや発表など友達との関わりの中で活動が進んでいくようにする。 ・一単位時間の活動の流れを明確にして児童が見通しをもって活動できるようにする。 ・環境や場の設定を吟味し、物的材料、人的材料を豊かにしていく。 ・国語や図工等の教科と関連させて学習内容を選択していく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<p>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。</p>	<p>(1) 歌唱への意欲は高いが、地声で歌う児童が見られるため「歌う声」を意識して指導することが必要である。</p> <p>(2) 音楽的な語彙を教室に掲示することでその語彙を手がかりに、楽曲を聴いたり感じ取ったことを表現したりすることができるようにする。</p> <p>(3) ・楽器の演奏技能や、読譜の学習ではスモールステップの学習を設定して技能の定着を図る。演奏ができて楽しいという気持ちを味わわせ意欲をもって学習することができるように指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア、グループ学習を通して友達と一緒に関わり合いながら音楽をつくったり表現を工夫したりする活動を取り入れる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	<p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。</p> <p>(2)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてを視覚化し見通しをもたせ、振り返りを重点的に行うことで児童一人ひとりの学習状況を見とり、個に応じた指導・支援を行う。 ・参考作品を提示したり制作中に児童の作品を見合う時間を設定したりすることで、豊かな発想を促す。 ・鑑賞では、自分の、見方や感じ方を深めるために作品のよさや特徴を捉え、ワークシートを工夫したり、友達との表現意図を伝えあう対話的な活動を取り入れたりとしていく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	<p>(1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活の営みに関わる見方・考え方」を働かせるために、成果や改善点、自分の家庭ではどのような実践ができるのか等の視点での授業ごとの振り返りを必ずさせる。 ・調理の学習では、個々の実践力を高めるために一人調理やペア調理の機会を増やし、経験できることの多い実習にする。 ・安全面に注意が必要な学習（ミシン・裁縫等）では、必ずペアで教えあい学習をさせ、個人の作品製作だけを目指とするのではなく、安全に実習が進むことを意識させる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	<p>(1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の特性を味わわせるために、運動の行い方や工夫したり、規則を工夫したりすることで、指導法の改善を図る。 ・学習資料を活用し、めあてに対する振り返りを重点的に行うことで、毎時間の指導改善と児童の学習改善を図っていく。 ・運動に意欲的でない児童や運動が苦手な児童には、個別に声をかけたり、配慮したりすることで、運動に進んで取り組むことができるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	<p>(1) 英語による「聞く・話す」活動を通して、人とかかわりに必要な自己表現力や国際社会に貢献するために必要なコミュニケーション能力の基礎を養う。</p> <p>(2) 我が国と異なる文化的背景をもつ人々との交流活動を通じて、世界の多様な文化を学び、地球規模で共生することの意義を考え、実践することができる態度をはぐむ。</p> <p>(3) 我が国と他国の文化を比較する活動を通して、日本の伝統的文化への一層の理解を深め、日本のよさを各国に情報発信することができる態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間スモールトークの時間を設定し、英語を聞くことになれる。何を言っているのか予想をしながら聞けるようにしていく。「大きな声で」「はっきりと」「相手の目を見て」会話をする大切さを伝えていき、言語活動でも丁寧に指導していく。 ・言語活動で取り上げるテーマは、児童にとって身近なことにし、児童が本当に伝えたい、話したい、聞きたいと思える内容にしていく。 ・異文化を理解するために、映像を活用していく。NTの国の紹介をしたり、日本と外国とを比較して授業で取り上げたりする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	<p>よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関心、意欲を向上させるため、導入部分で事前アンケートを活用したり ICT 機器を活用して資料提示を行ったりするなどの工夫をする。 ・児童が自己の生き方について考えを深められるように発問の精選を行い、価値理解と同時に人間理解や他者理解も深めていけるようにする。 ・物事を多面的、多角的に考えさせるため、日常的に話し合い活動を取り入れていく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	<p>(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 縦割り班活動では、学年の交流がより深まるように兄弟学年を設定する。上学年が考えた遊びを実施し、その後必ず振り返りの時間を設け、下学年に楽しかったことと感謝の言葉を伝えさせる。また、各学級に縦割り班の掲示板を設け、班の写真や今後の活動予定を確認できるようにすることで、班への所属感を高められるようにする。 委員会活動では、学期初めの全校朝会時に、委員長発表集会を設ける。全校の前で校長から委任状を渡されることで主体的に活動しようとする心を養う。 クラブ活動では、2学期末にクラブ発表集会を設け、日ごろの活動を発表させることで、達成感や一体感を高められるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	<p>(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。</p>	<p>(1) 国語で学んだ情報の分析・整理・表現の知識を生かして、総合的な探究的な学習ができるようにする。</p> <p>(2) 地域や自分に関することなど、身近な題材を選び、体験活動を充実させることで、児童と学習問題をつくり、主体的に課題解決できるようにする。</p> <p>(3) 児童が対話しながら課題解決の方法を考えたり、気付きを深められるよう、計画を組む。</p>